

# 京都御苑



## NEWS

Kyoto Gyoen  
National Garden  
News

spring

春

第155号  
2023.3.1

京都御苑ニュース

### CONTENTS

- ▶ 京町家、庭の再生に想う先人の知恵、文化の価値
- ▶ 愛しき場所を見つける
- ▶ 御苑界隈そぞろ歩き
- ▶ 学生コラム ー立命館大学ー
- ▶ Information



満開の桜と京都御苑石薬師御門

## 京町家、庭の再生に想う 先人の知恵、文化の価値

濱崎加奈子

京都御苑の西すぐ近くに有斐斎弘道館があり、もともとは江戸時代の学問所址で明治に再建された貴重な数寄屋造の建物と庭が残されていた。二〇〇九年に取り壊しの危機に遭ったが保存活動により解体を免れることができた。現在では再興を支えるために茶事、能楽、香道はじめ京都の文化や歴史を学ぶ講座やイベントが開催される和の文化サロンとなっている。有斐斎弘道館の館長である濱崎加奈子氏に建物や庭の再生に取り組んできた想いを語っていただいた。

京都御苑蛤御門北の上長者町通を西へ一筋、室町通を越えて北側に、有斐斎弘道館があります。江戸時代には全国から三千人もの門弟をあつめた有名な学問所でしたが、現在はその存在を知る人は多くありません。幕末の大火により当時の建物はありませんが、址地に建てられた数寄屋建築と庭は素晴らしく、各地からこの場をめざして集った人々の志を、肌を感じるができるかのようです。学問所があった時代、主である皆川淇園を慕い、長崎平戸から藩主・松浦静山が、大坂から木村兼葎堂が訪れては、新たな知を拓いていました。淇園はまた、円山応挙、与謝蕪村、伊藤若冲といった芸術家とも親交がありましたし、この建物から一筋上がれば、つい先日まで残されていた富岡鉄斎の邸宅に、煎茶の小川可進が住まいしていました。



ここ御所西は、学問・藝術サロンのような地だったのです。そんな歴史を掘り起こしながら、先人が創造してきた伝統の知恵を伝えるべく、有斐斎弘道館は現代の学び舎として活動をしております。

さかのぼること十四年。有斐斎弘道館は存続の危機にありました。当時、一日二軒以上のペースで京町家がこの町から消えており、現在はさらに加速をしている印象です。ここ有斐斎弘道館も、二〇〇九年には、もしかしたらこの世から姿を消していたかもしれないのです。たくさんの方々の思いによって、何とか「残す」ことができましたのは幸運としか言いようがありません。

さて、この建物の存続を何とか試みていた当時、ふと航空写真で敷地を見ますと、緑の樹々がもくもくと



多くの方々の手によって再生した有斐斎弘道館の庭 撮影：大道雪代

茂っており、さながら御所の隣の小さな森といった具合でひととき目をひき驚いたものでした。敷地全体が、うつそうと樹々に覆われていたのです。一方、樹々の蔭になっていた地面に苔はなく、茶事をする露地庭も樹木の根が剥き出しになっている状態でした。そういうわけで、有斐斎弘道館の保存活動は、庭の再生からはじまりました。

前庭、南庭、西庭、北庭とありますが、とりわけ敷地の半分を占める北庭は樹々が壁のように立ちはだかっついていて、人が入ることを許さない状況でした。DIYショップで購入したハサミやノコギリで一本一本、枝樹を伐っていきますと、池かど見紛うような大きな蹲つまた跡や古い灯籠、また井戸など、「発見」の連続。徐々に樹木の間から光が射すようになり、同時に雑草を引くことで、地面に苔が育っていきましました。石と「対話」しながら露地庭が整えられていきましました。

とにかく、毎日庭と格闘していたわけですが、あるとき、いつものように雑草を引きつづけていて、ふと土から引き抜いた小さな白い根をみて、「いのち」をズシッと感じたことがありました。わたしたちは、たくさんさんの「いのち」の上に、庭という美をつくりあげてきたのです。見渡してみると、すべてのものが、いのちの連環のうえにあつて、人はその一部にすぎないのです。そうした、当たり前のことを、いま私たちは、



座敷からの視線のむこうに、四季折々の表情をみせてくれる 撮影：大道雪代

忘れていような気がします。

町家や庭を維持するのは、手がかかります。費用もかさみます。これまでは、その不便さや非効率、非経済的であることから、文化的な価値が評価されなまま、やむをえず取り壊されてきました。しかし今、効率的にすることが、果たして人の生活を豊かにするのか、社会を成長させるのかといえ、そうではない、ということが語られはじめています。ちよつと不便であること、手入れをしなければならぬモノや空間があるということが、価値をもつ時代が来ています。それこそが、先人が与えてくれた、暮らしの知恵ではないでしょうか。文化が息づく町、世界に冠たる京都の役割は、ここにあると思っています。

(公益財団法人 有斐斎弘道館

代表理事・館長)

## ▼御苑の自然を楽しむ、育む —ネイチャーポジティブ— ▲ 愛しき場所を見つける 河合嗣生



見上げてごらん春から夏の森を：我先にと花を咲かせ、新芽を広げる

のも一つのアイデアかもしれないかもしれません。しかしまず身近な自然環境を、今以上損なわないためには何が必要か考えました。

月並みなことですが、まず第一歩として身近な場所、できれば多種多様な草木が生育する環境を観察場所（フィールド）として見つけ、日常的に楽しみ、魅力を見つけることが大事だと考えます。まずは多くの魅力に触れ、愛しく感じることなくして、自然をプラスに増やすことなどできそうにありません。

京都御苑を見てみると、まさに身近な場所にあつて、多様な樹木が生育します。自然の魅力に触れるには申し分ない場所です。四季を彩るマツ、ウメ、イチヨウ、サルズベリなどに目が行きがちですが、ここでは鳥や昆虫が好むケヤキ、エノキ、ムクノキ、ヤマザクラ、クスノキなどが重要となります。



ゴマダラチョウの幼虫：冬の間、地上の枯葉裏で過ごし、春になると新芽の膨らみととも枝に登り始める



## 学生コラム

### 多様な目線から京都御苑の新たな姿を

立命館大学文学部コミュニケーション表現専攻  
3回生 川村 瑞希

国民公園として親しまれる京都御苑。京都に生まれた私にとって、そこは小さな頃の遊び場でした。久しぶりに京都御苑に足を踏み入れ、なつかしさと心地よさを感じ、当時は気づかなかった御苑を「支える人たち」にお話を伺いました。

御苑内の樹々の剪定に携わる方は、これまで受け継がれてきた庭園を植物の成長を見据えて次世代へいかに繋ぐか、建物と自然の調和、安全などの目線をもって手入れをされているそうです。また、清掃に長年かかわる方から、コロナ禍の消毒や、温暖化による長雨などにより砂利の間に生えた野草の除草作業が欠かせないなど、時代の流れとともに少しずつ変化する仕事に触れさせていただきました。さらに広大な敷地内の清掃を終えたばかりの方々からは、犬のフンの処理や動物への餌やり禁止などのマナーを守って苑内を利用してほしいという切実な言葉が。多くの人が集う京都御苑を見る目線やかかわり方は様々。それぞれの見方から京都御苑の新たな姿が発見できるかもしれません。



12月、中立売休憩所前ではたくさんの落ち葉を集めて清掃



室町通に面する店舗玄関



体験講座 聞香の様子

りとりの中で公家文化を吸収し、香作りに生かして参りました。香を取り扱う以前は薬種を業としていましたが、薬種（薬原料）は、その殆んどが香原料ともなり得るもので、明和年間には香を主体にするようになりましたが、薬種は今も継続しています。また、日本古来の製法を伝承するのは当然として、その製法を皆さんに知ってもらうことが、より重要との思いから、さまざまな香の調合法や製法、使用法などを実

■山田松香木店京都本店  
京都市上京区勘解由小路町164  
(室町通下立売上ル)  
電話・075-441-1123  
営業時間・10:30~17:00

(株式会社山田松香木店  
代表取締役会長)

際の経験を通じて知って貰いたく、「香りの体験講座」を開いています。店頭には、香木をはじめお線香や匂袋など香りにまつわる商品を幅広く取り揃え、伝統にもとづいた天然香料にこだわった調香で、からだにも環境にも優しいものづくりを今後



香木など香り商品の並ぶ店内

御苑界隈そごろ歩き

## 日本の香り文化を伝える

山田英夫



見上げてごらん秋から冬の森を：  
多種の樹木が陽光を求めて枝を広げる

これらの樹木が生育することで、野鳥や昆虫類、菌類の多様性が生まれます。京都御苑では、人によって植えられた樹木も数多くあります。知っておきたいことは、たとえ人が植えた木々だとしても、そこには多くの野鳥が採餌や休息、営巣のために飛来します。さらに鳥たちは、御苑の外で食べた木々の種を運んで来てくれます。鳥の糞には多く植物の種が混じり、あちらこちらで排出され、発芽します。木々が育つことでさらに多くの生きものがやって来ます。言い換えれば、自然環境の多様性を生み出すのは野生生物の役割でもあるということです。このことより「生物多様性を守る」と「自然を増やすこと」は、一体のものであることがわかります。

私たちの周りにはさまざまな野生生物がいます。かつて野鳥の中には「益鳥と害鳥」に分けられるものもたくさんあります。京都御苑では年に四回の自然教室が開催されます。鳥、昆虫、植物、キノコの研究者がそれぞれの視点で自然の楽しみ方を解説します。ぜひこの機会を生かして、ご自分のフィールドを見つけてはいかがでしょうか。

(京都自然観察学習会／  
環境カウンセラー)



ケヤキの樹皮裏で春を待つウズタカダニの一種：生態はよく判っていない。落葉などを食し土に戻す大切な役割を果たすという



■イベントのお知らせ

京都御所の通年公開

公開日：通年(事前申し込み不要/無料)
ただし、月曜日、年末年始、行事等
実施のため支障のある日は休み

公開時間：3月/9:00~16:30 (入場は15:50まで)
4~5月/9:00~17:00 (入場は16:20まで)

入場門：御所清所門

アクセス：御苑北西角 乾御門より(地下鉄今出川
③出口 市バス烏丸今出川 徒歩8分)

●令和5年春の特別公開 京都御所宮廷文化の紹介
期間：3月24日(金)~28日(火) 無料

お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都仙洞御所の参観

事前申し込みに加えて当日受付も行われています

当日受付：京都仙洞御所にて11時頃から先着順に
整理券を配布(満員になり次第終了)。

当日受付枠は13:30、15:30。
各時間とも定員は10名。

お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215



京都仙洞御所
ハツ橋

京都迎賓館一般公開

日本の歴史・文化を象徴する京都で、海外からの
賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めてい
ただくための国の迎賓施設です。

公開日程：迎賓館のホームページでご確認ください。

参観料金：大人 2,000円 大学生 1,500円
中高生 700円

参観受付：清和院休憩所

お問合せ：迎賓館京都事務所 ☎075-223-2301

京都御苑 自然ふれあいイベント

①京都御苑 春の自然教室

日程：令和5年4月開催予定

内容：春の御苑で見ることのできる生き物を観察します。

②京都御苑 新緑のトンボ池一般公開

普段は立ち入りを制限している「トンボ池」を公開します。

日程：令和5年5月開催予定

内容：京都御苑トンボ池(富小路口北東へ徒歩5分)

主催：環境省京都御苑管理事務所

運営：(一財)国民公園協会京都御苑

※詳細は決まり次第ホームページなどでお知らせします。



■苑内利用施設・サービスのご案内

閑院宮邸跡収納展示館/京都御苑総合案内所

京都御苑南西角の閑院宮邸跡に建つ公家屋敷の
風格残る旧宮内省建物の遺構です。展示室では
京都御苑の歴史や自然をVR映像などで学べま
す。また京都御苑の総合案内所として、マップ
や苑内の見どころなど旬の情報を提供。

開館時間：9:00~17:00 (展示室は16:30まで)

休館日：年末年始 ※展示室は月曜日閉室

アクセス：御苑南西角 間之町口すぐ(地下鉄丸太
町①出口 市バス烏丸丸太町 徒歩5分)



VR映像シアター

拾翠亭(茶室)

五摂家の一つであった九條家別邸の遺構で、茶
室として江戸時代後期に建てられました。

公開日：毎週木・金・土曜日、葵祭、時代祭 9:30~
15:30 ※諸事情により参観休止の場合あり。
参観料 300円(高校生以上)

貸切利用：茶会、句会、謡曲等の会合にご利
用できます(公開日除く)。有料
※詳細はホームページをご参照ください。

京都御苑情報館

中立売休憩所に隣接する施設。京都御苑のジオラマ
模型など御苑全体の歴史や自然を紹介しています。

開館時間：9:00~16:30

休憩所(レストハウス・売店)

休憩やお食事・喫茶にご利用ください。京都御
苑オリジナルのお土産物も多数揃えています。

中立売休憩所(「京都御苑 檜垣茶寮」)

営業時間：9:00~16:30

京都御所前に位置し、御苑の木々に囲まれた「森の
休憩所」。中立売駐車場に隣接し、京都御所参観へ
のアクセスは抜群。セットメニューから軽食、カフェまで
木の香る落ち着いた雰囲気の中でお食事ができ、売
店「檜垣」では、御所限定のオリジナル
商品を多数取り揃えています。

KYOTO-WiFi(無料)も利用可能。



御所の華弁当
右近の橋(刺身付き)
【要予約】



@kyotogyoen\_
resthouse

近衛邸跡休憩所(「SASAYAORI+京都御苑」)

営業時間：10:00~16:30 (月曜日休館)

京都御苑北西部の近衛邸跡にあり、児童公園に隣接。
シタレザクラに囲まれゆったりと和スイーツでカフェタイム
をお過ごしください。KYOTO-WiFi(無料)も利用可能。



清和院休憩所

京都御苑東部の京都仙洞御所や京都迎賓館参観
口前に位置し、清和院駐車場からも近接。

富小路休憩所(御苑南東富小路口すぐ、テニスコ
ート隣接) 現在無料休憩所として利用できます。

※詳細はホームページをご参照ください。

運動施設

富小路テニスコート(5面) 有料

富小路広場(6面)/今出川広場(3面) 有料
軟式野球・ソフトボールなどにご利用ください。

申し込み：(一財)国民公園協会京都御苑

駐車場

中立売駐車場(乗用車・バス併用/乗用車131
台・バス16台)

利用時間：乗用車 7:00~20:00 (24時間出庫可)
バス 8:00~17:00

料金：乗用車 800円(3時間まで)
当日最大料金 1,200円

バス 2,000円(3時間まで)

●夜間のバス利用について

利用時間：入庫 17:00~20:00 出庫 翌朝8:00まで

料金：1泊 3,000円

清和院駐車場(乗用車専用/81台)

利用時間：7:00~20:00 (24時間出庫可)

料金：800円(3時間まで)
当日最大料金 1,200円

※詳細はホームページをご参照ください。

京都御苑Instagram/Twitterで桜の開花情報をチェック!



@kyotogyoen\_info



@gyoen\_info

\* 京都御苑における新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

■苑内のご利用に当たり次の予防対策にご理解、ご協力お願いいたします

- ・マスク着用、咳エチケット ・手洗い、手指の消毒
・ソーシャルディスタンスの確保
・密集回避のためレジャーシートを使用する際は、人との距離を十分に保つ



会員募集(2023年度)のお知らせ

2023年度(2023年1月~12月)の
国民公園協会京都御苑会員を募集し
ます。

■年会費

●普通会員..... 1,000円以上

●賛助会員(会社・団体)

..... 10,000円以上

■会員特典

- 1 京都御苑ニュースの送付
- 2 申し込み年度の葵祭及び時代祭の
観覧席招待券の進呈(ただし普通会員
は会費4,000円以上の方に限ります。)

■申し込み・お問合せ先

(一財)国民公園協会京都御苑



編集後記

現代の日本文化の根幹につながるさまざまな
文化を支えるのは守り伝えるという地道
だがポジティブな営みの積み重ねだと思
う。この3月には文化庁が京都御所・御苑
の側にやってきます。(発行人 池田善一)

企画・発行/お問合せ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
〒602-0881 京都市上京区京都御苑3
TEL 075-211-6364

編集

白川書院

監修

環境省京都御苑管理事務所



注冊商標/第1004号/再発注/再発注/再発注/再発注